

# なかつか 亮



## 今の戸建てが良いのに…住民の声

## 西品川一丁目再開発事業

### 「一本橋通り」道路建設が進むと、さっそく…

総事業費 1003億円

# 税金145億円 100m級ビル2棟建設へ



この辺が国際自動車教習所敷地です

一本橋商店街を削り、光学通りにつながった「一本橋通り（都市計画道路163号線）」が開通した途端、都市計画道路周辺の再開発が次々と始動。今回紹介する計画は、住友不動産が国際自動車教習所敷地1・9haを取得後、区が協力し、一部の地権者と共に3・9h／超高層ビル2棟へと拡大した「再開発」事業です。

西品川一丁目地区再開発：100m級のオフィスビルとマンションの計画

**元々は単独住友マンションだったのに…**  
西品川一丁目再開発は、いわばウルトラC級。元々は教習所敷地を取得した住友不動産の単独マンション計画でしたが、品川区は「大井町と大崎を結ぶ連携地区というまちづくりを」と話しを持ちかけ「大崎西口全体のまちづくりの発展のため」と計画変更。1・9haから3・9haへ拡大し、税金投入、建物規制の緩和で進める再開発事業として再編成したものです。

右上をご覧ください。住友が取得した教習所跡地はごく一部で、多くが戸建て住宅や中小企業などです。大手ゼネコンによる種地取得が、巨大ビル建設へ発展した、再開発の典型です。

住民からは「なんで住友のために自宅を提供するのか。私は戸建て住宅が良いのに」と、声があがっています。

一本橋通り拡幅道路建設の決定時には、こんな計画はありません。道路工事が光学通りに繋がるやいなや、区は上位計画を変更し沿道開発へ。住民はまさに“寝耳に水”です。裏



週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

**フェイスブック ほぼ毎日更新中！ 気軽に「友達リクエスト」の送信を**

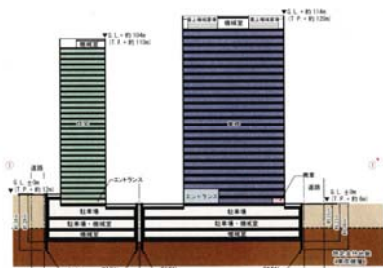
## 税金145億円投入

8月5日の建設委員会にて大崎駅西地区周辺地域におけるまちづくりが報告されました。

2棟の100m級ビルを作る西品川一丁目再開発事業について区は「約1003億円が総事業費。補助金は約145億円の税金が入る計画です」と説明。145億円の税金投入とは「驚き」です。

## 一ヶ月以内に返事を

東京都は今年7月末に再開発組合の設立を



西品川一丁目地区再開発を横からみたイメージ図（区提供資料より）

認可。地権者70人中、計画同意は約58人。同意していない地権者について、都市計画法では認可取得一カ月後となる8月末までに「再開発計画に参加するか」「地域から出て行くか」の返事が迫られます。共産党が「一カ月以内に返事をしないと、どうなるのか」と聞くと、区は「法律上は強制権利変換（土地収容法）」と説明しました。

### この計画も防災？

区は事業計画の理由に、ここでも防災を強調。しかし、なぜそれが100mビルになるのか？。防災なら木造住宅の耐震化や初期消火強化など別の方法があります。結局は住民を追い出し進めるゼネコンの仕事づくりです。

## ここにもアベノミクスの弊害が！！ 国土強靱化計画？？

安倍政権が進める「国土強靱化計画」の名の元、防災を理由に進む大型公共事業が加速。大崎駅周辺再開発の加速もその一端。税金を「食べ物」にし、さらに庶民には「財源」などと消費税の増税を押し付けるとは間違っています。無駄な公共事業は中止させ、今こそ庶民の暮らし応援の政治に抜本的に転換させましょう。なかつか亮

## 日本共産党 ブラック企業追求 情報募集

参院選の大きな争点のひとつになった「ブラック企業」。企業利益のために若者を使いつぶす大問題。是非、情報をお寄せください。

### 全国共通連絡先

◆メール hensyu@jcp.or.jp  
◆ファクス 3350-9531  
件名に「赤旗日曜版ブラック企業追求取材班」と明記してください。



## ゆたか診療所移転

8月10日、杜松小学校体育館で開催された「ゆたか診療所移転・新築祝賀会」に参加。白石たみお都議もあいさつしました。「いのち」の平等掲げる地域医療の発展にご一緒に力をあわせましょう。

## 次の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231